

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2134号 2012年10月22日(月曜日)

《 a small Black Friday ? 》

今週の市場は、先週のニューヨーク株式市場で起きたやや大幅な株価の下げをどう理解するか戸惑いながらのスタートとなりそうです。なにせ先週の金曜日は、無論曜日は違いますが1987年10月19日と四半世紀前のブラックマンデーと同じ日で、かつ株価は過去4ヶ月間で最大の205.43ドルも下げた。もっとも四半世紀前のその日は、株価は一日で22.6%も下げましたから、金曜日のパーセンテージにした時の下げ幅1.52%は問題にならないくらい小さい。しかし、世界の市場の中でもっとも最後の市場が大幅な下げだったことを、市場関係者は気にするだろう。

先週末のニューヨーク市場の下げに関しては

「マクドナルドなど米有名企業の業績が予想を下回って出るケースが多い」

「スペインの銀行救済に関して欧州首脳の足並みが揃わない」

「米住宅市場回復の兆しはあるが、まだそれも暫定的であることを示す数字が出た」

一など。私が土曜日の朝起きてニューヨーク市場の下げを見て最初に考えたのは、「やはり13500ドルという株価の水準が高すぎる」のではないかと、という点。確かに今の市場は金融相場環境ではあるが、ニューヨークの史上最高値は14000ドルをちょっと上回ったところですから、「財政の崖」「まだそうは言っても行方がはっきりしない大統領選挙」などイベントを控えて、また基本的にはアメリカ経済がまだ安定した成長軌道に戻らない今、“金融相場”だけで走れるわけではない。

昨日の東京株式市場は日経平均が引けで9002円と9000円台で久しぶりに終わっていたが、これもちょっと居心地が悪そうだ。しかし東京の株にはニューヨークにあるような割高感はないので、その分は差し引いて考える必要がある。まだドル・円相場は金曜日のニューヨーク株価の大幅な下げにも関わらず、それほど円が上昇しなかった。これは円が高値追いを続けているときには見られない現象で、そういう意味ではドル・円における円の上昇圧力は月末の日銀の政策決定会合での金融緩和措置を見越して弱く、暫くドルが強い可能性がある。

今週は引き続き、アメリカの経済統計や中国から出てくる数字に関心が集まろう。中国経済に関しては「9月か、そうでなくても今年の最終四半期には経済は上向く」という政府サ

イドの見立てを支持する数字もあるが、そうでない数字もある。この週末に筆者が注目したのは、「海外企業の対中国投資がまた減った」というもの。そりゃそうで、これだけ政情不安、賃金引き上げ圧力が強くては海外企業も「将来は大きな消費市場だから」ということだけで投資できない。

その関連では「China Faces Tough Choice on Growth」というウォール・ストリート・ジャーナルの記事が非常に納得出来るものでした。中国の安定成長の為には消費者の購買力を高めなければ駄目。その点で国内の格差是正が最大の改革ポイントになるが、「中国の次の指導部にそれが出来るか」と指摘している。もっともな指摘だ。

《 Romney Surges to Tie Obama 》

11月6日の米大統領選に関しては、最後の候補者討論会が22日にフロリダ州ボカラトンで開かれる。テーマは外交・安全保障。対テロ戦争の遂行の仕方やイランの核問題、対中政策などが議題となる見通し。中でも、対中国政策を巡っては「中国がサンドバッグになっている」との指摘もある中で、「どちらが強硬になれるか」という雰囲気もある。またテロに関しては、特に大使が死亡したリビアの米領事館襲撃事件をめぐって、「テロ」と断定されるまで半月も情報が錯綜した点に関して、「意図的な情報操作」（共和党）、「事件の政治利用」（民主党）と双方が非難姿勢を強めている。22日の討論会でも激しい論戦が予測されている。

今朝見たウォール・ストリート・ジャーナルには「Romney Surges to Tie Obama in National Poll」という記事がある。

「A late surge in support for Republican presidential candidate Mitt Romney has put him in a dead heat with President Barack Obama with just over two weeks to go before the election, according to a new nationwide Wall Street Journal/NBC News poll released Sunday. Among likely voters, the candidates are now tied, 47% to 47%, in a race that appears on track to be one of the closest in U.S. history.」

ロムニー株が大幅高になってオバマに追いついた背景について同紙は「Mr. Romney's surge followed his strong debate performance in Denver early this month and a contentious second debate with Mr. Obama last week.」とこれまでのテレビ討論でのロムニーの健闘を指摘している。ということは、22日の最終討論が持つパワーは大きいかも知れない。一般的には今月3日の分に関してはオバマの大敗・ロムニーの大勝ち、16日のそれはオバマが優勢だったと判断されているが、世論調査を受けた国民の間には第一回討論での両者のパフォーマンスがまだより強く頭に残っているようだ。

今週の主な予定は以下の通りです。

10月21日(日)	スペイン、ガリシア州・バスク州地方選挙
10月22日(月)	9月貿易統計
10月23日(火)	米10月リッチモンド連銀製造業指数 ピアナルト米クリーブランド連銀総裁が講演 休場/香港、タイ
10月24日(水)	ユーロ圏10月PMI 米8月FHFA住宅価格指数 米9月新築住宅販売件数 米FOMC 休場/インド
10月25日(木)	英7-9月期GDP 米新規失業保険申請件数 米9月耐久財受注 米10月シカゴ連銀全米活動指数
10月26日(金)	9月全国・10月都区部消費者物価 韓国7-9月期GDP 米7-9月期GDP(速報値) 米10月ミシガン大学消費者信頼感指数 休場/シンガポール、マレーシア、 インドネシア

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。確か土曜日でも日曜日でも関東地方には雲一つ無い安定した晴れの週末だったように思いました。秋は晴れると朝晩は寒くなる。その通りで日曜日は日中皆半袖の陽気でしたが、夜はやはり寒くなりました。皆さんも風邪にはお気を付けて。

ところでこの日曜日は本当にビックリしました。一部のテレビが事前に報道していたようですが、私はそれを見ていなかったのも、「東京のど真ん中で... 戦後65年以上たっているのに不発弾処理かよ」と思いました。日曜日の午前9時15分くらいでした。紀尾井町のホテルに所要があってコロンビア通りを上がって青山通りに入ろうとしたら交差点の中に警察官が3人ほど立っている。さらに見ると赤いパイロンが一杯並べてあって「右折禁止」。

警察の人に行き場所を言ったら、「お気の毒ですが、一回回って...」とだけ。「うーん、皇族の出入りかな。それにしても警備が厳しい」と仕方がないので赤坂郵便局を左折して乃木坂から赤坂通に入って左折し、赤坂見附を見たら青山通りが封鎖されていた。それでもまだ「なぜ」が分からない。皇族の出入りで青山通りを止めていたのでは大変で、「ちょっとおかしい」と思った。

「なにか異常なことが.....」と思ったら、ホテルの「今さっき赤坂見附から歩いてきた」という人が、「不発爆弾の処理とか書いてありましたよ」と。で、ネットで「青山通り 不発弾」で検索してみたのです。そしたら港区のホームページにその旨のお知らせが。最初信じられなかったが、本当でした。私が午前11時15分に再び赤坂見附を通りかかったときには封鎖は解除されていたから、無事処理は終わったのでしょうか。しかし物騒な話です。ずっと不発弾の上で事務を執ったり寝ていた人がいたということ。

それにしても物々しい警戒でした。青山一丁目あたりも結構な数の警察官が居ましたし、青山一丁目から赤坂見附までの246沿いは合わせると凄い数の警察官と赤いパイロンの数でした。それにしても、「元赤坂一丁目」と言えば本来は閑静な場所です。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》